

自転車運転マナー実践教室の開催

【支援金確定額：114,505円 支援率：50%】

取材日：平成23年（2011年）11月13日

■どのような活動をされていますか？

団体の主な目的は、①自転車等の事故撲滅、②青少年育成と地域の環境創り、③高齢者と子供達の触れ合いとコミュニケーションを図ることです。これらの目的を実現するために、自転車運転マナー教室を毎年5、6回開催しています。実施に当たっては、市の交通安全課、警察署、交通安全協会、地域の町会・自治会、ボランティア、学校、PTA等の協力を得ながら、公道を利用し、決められたコースを運転し、自転車のマナーや安全運転について体験してもらいます。毎回、子供・大人・高齢者等70～130名が参加し、地域の自転車運転マナーの向上に繋がっています。



■支援金をどのように活用されますか？

いつ事故が起きてもおかしくない狭い住宅地。増加する自転車事故を少しでも減少させる運動の一環として、平成21年から自転車運転マナー実践教室をスタートしました。この活動を軌道に乗せるためにも支援金を有効利用して、私たちの団体の目的達成を目指します。支援金は告知用チラシ製作、記録写真、終了シール作成、参加記念品等に使用しています。



■今後の活動の抱負を教えてください。

様々な活動を通じて、地元住民のコミュニケーションを図り、住民間の『絆』を深めて行くことによって、地域が抱える諸問題に住民が一丸となって取り組むことができる環境づくりをすることが重要です。その一環としても、この自転車運転マナー実践教室を位置付けています。

この活動を推進して行くためには、安定した資金確保が重要な課題となります。今後は企業、特に大手企業にも協賛してもらえるように働きかけていきたいと考えております。

～取材を終えて～

先日、自転車運転の取り締まりを強化する旨の報道があり、市民の関心が高まる中、今期4回目の自転車運転マナー実践教室が開催されました。地元の少年サッカーチームの協力も得て、子供73名と大人21名が参加して大盛況となりました。交通安全協会を中心に近隣の公道を使用して自転車マナーの実践的指導が行われ、また会場の大穴北小学校内では自転車運転の敏捷性テストも実施されました。住宅地が多く、道幅も狭いため、参加者だけでなく地元住民の自転車運転マナーやルールの周知徹底が本当に必要であると痛感しました。船橋市、交通安全協会、運営委員、学校、PTA、その他の協力を得てその輪がだんだん広がっているようです。

■関わり先（連絡担当者）：代表 中込 正次（なかごめ しょうじ）

TEL：047-465-3820